

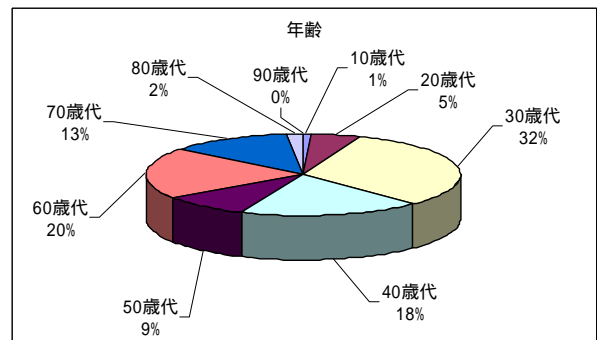
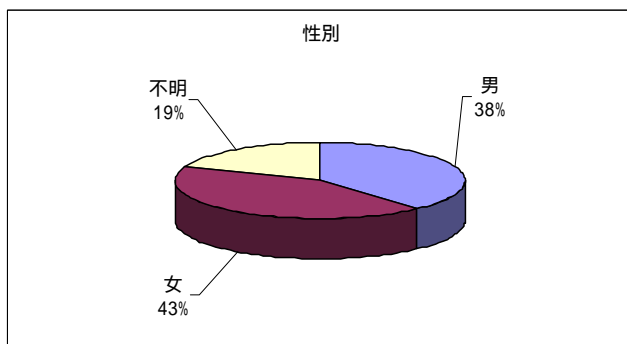
マイカー通勤・通学に関するアンケート結果

はこだて・エコフェスタ 2012 の来場者 120 人に対して行ったアンケート調査の結果は、下記のとおりである。

1 回答者の性別，年齢構成

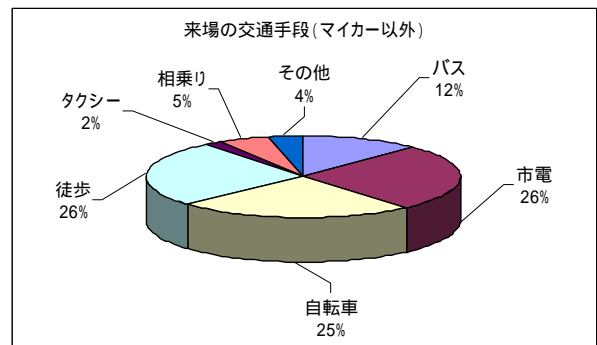
性別は男 38%，女 43%，不明（未回答）19%であった。

また，年齢構成は30歳代が32%と最も多く，60歳代20%，40歳代18%となり，各年代から幅広く意見を聴くことができた。

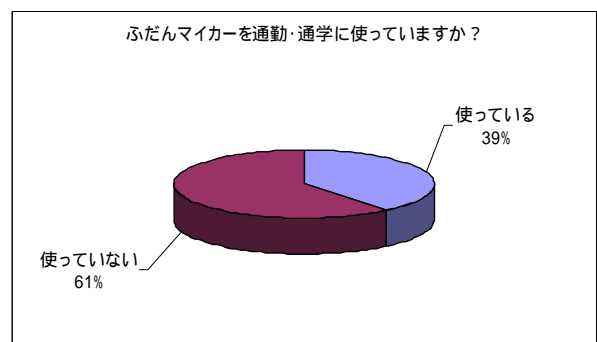


2 「今日のはこだて・エコフェスタ 2012 にはマイカーで来ましたか？」との設問に対し，マイカーでの来場者が57%，マイカー以外の交通手段は43%であった。

また，マイカー以外の交通手段では多い順に，徒歩26%，市電26%，自転車25%であった。自転車利用者の中には亀田本町や北浜町からの来場者も見られ，徒歩の場合はほとんどが西部地区在住者であったが，堀川町からの来場者も1人見られた。



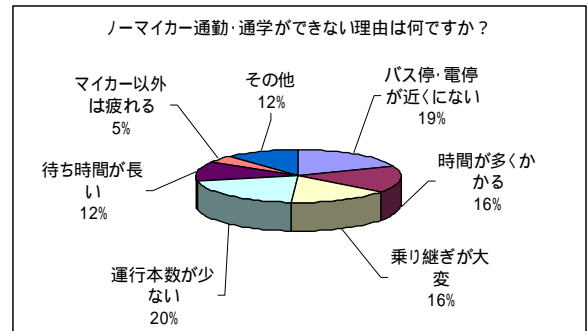
3 「ふだんマイカーを通勤・通学に使っていますか？」との設問に対し，使っている39%，使っていない61%であったが，回答者の中には主婦など通勤・通学をしていない方も含まれているため，実際のマイカー通勤の比率は，もう少し高くなると予想される。



また、ふだんマイカー通勤・通学している方の自宅から通勤・通学先までの片道の距離は、回答のあった25人の平均で6.4km、所要時間は24人の平均で15.8分となった。距離で最も回答が多かったのは5km（8人）、時間で最も回答が多かったのは10分（10人）であった。

距離・時間の最短は0.5km、1分であり、最長は25km、40分であった。

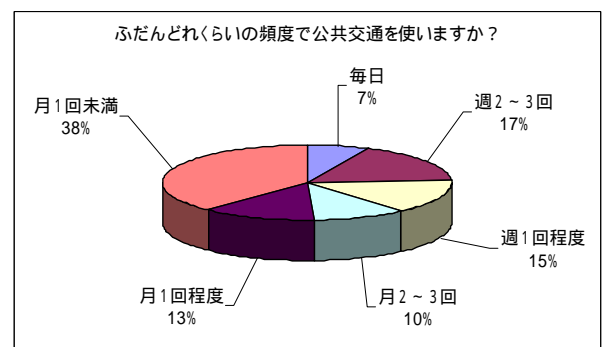
4 「ノーマイカー通勤・通学ができない理由は何ですか？」との設問に対し、多い順に運行本数が少ない20%、バス停・電停が近くにない19%、時間が多くかかる16%、乗り継ぎが大変16%であった。



これらの理由は、以前より公共交通の利便性向上の課題として繰り返し指摘されているものである。

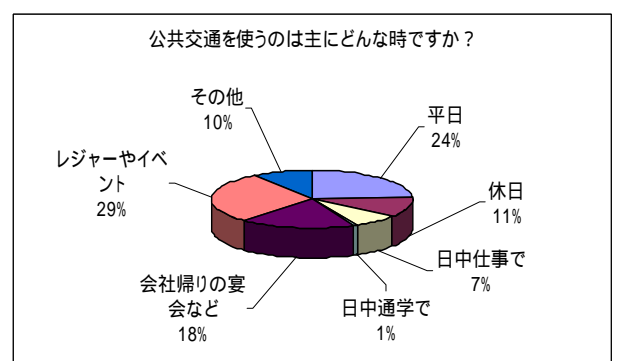
その他の理由としては、「マイカーを仕事にも使用する」、「出勤時間が早い」、「子供と乗るのが大変」などの意見があった。

5 「ふだんどれくらいの頻度で公共交通を使いますか？」との設問では、月1回未満（38%）と月1回程度（13%）を合わせると約半数であるが、週2～3回も17%と比較的高いことから、ふだんから公共交通を利用する方としない方とに二分されている状況であることが予想される。



6 「公共交通を使うのは主にどんな時ですか？」との設問では、レジャーやイベントが29%と最も多く、次いで平日24%、会社帰りの宴会など18%、休日11%となった。

ふだんマイカー通勤している方が公共交通を利用するのは、会社帰りの宴会など（19人）、レジャーやイベント（14人）が多く、必要に応じて公共交通機関も利用していることがわかる。



7 自由意見（内容は原文のまま）

(1) ある程度の税金を投入してでも公共交通（特に市電・鉄道）の路線維持や車両整備・更新・料金の低減を図るべき。マイカーは税金で整備された道路環境を採算を問われずに使っているのだから、公共交通も平等にするべき。江差線の存続・利用促進に向けたアイデアを市民と一緒にどんどん出してほしい。

- (2) 電車のります。
- (3) 週一くらいで函館全部でノーマイカーデーやれたらいいなあと思います。
- (4) バス停に路線図がないと困る。
- (5) 電車の利用度を上げる為に官民の取り組みをするべき。広く意見を取り入れ、環境の街函館を推進する事を考え行動するのが今なのでは？
- (6) 子供がいるので大変だ。
- (7) 市電の時間がかかる。
- (8) バスの時間が空きすぎる。
- (9) 1時間あたりの本数が増えると便利であるが、反して環境に負荷がかかる何事もバランスが大切。
- (10) 普段車で用事。70才すぎて車をやめ、バス、電車にしたいと思ってます。
- (11) 飲んだら乗らないためには、公共交通をぜひ利用すべき。
- (12) バスが夜早く終わるなど便利が悪すぎます。
- (13) バス、電車の増加、利便性を高める。
- (14) 市電、市バスはなくならないでほしい。100円バス、100円電車にはならないのですか？
- (15) 急なアクセル全開防止。
- (16) 便利なら使いたい。乗り継ぎなど。
- (17) バスの本数が少なく、コースも遠回りで大変でした。
- (18) 電車・バスがもう少し遅い時間まであれば・・・。
- (19) 公共交通が充実していない。
- (20) ノーマイカーデーや車を通勤に使用する場合は、乗り合うなどの取り組みをもっと積極的に実施すべきだと思う。
- (21) 朝に電車を早くに出ると良いと思います。
- (22) 通勤に利用できる路線がほしい。

8 まとめ

部会でも議論された「なぜ、ノーマイカーデーに参加できないのか」といった現状把握としては、以下のことが言えるのではないか。

- ・公共交通の利便性（運行本数、運行ルート、移動時間、乗り継ぎ等）向上が課題。（公共交通＝利便性が悪いというイメージが定着している。）
- ・マイカーが使用できない状況（イベント等で駐車場がない、宴会でお酒を飲む等）では、利用頻度は少ないが公共交通機関を利用している。
- ・ふだんマイカー通勤していても、エコフェスタにはマイカー以外で来場している方も少なからずいることから、マイカーを使わなくてもよい条件やきっかけは何であるかを継続して調査することが必要。